

特 集

マニラ日本人会 新会長インタビュー

細谷明宏前日本人会会長のご帰任に伴い、2022年4月より、高野誠司氏が会長にご就任されました。

それに伴って今回、まぶはい編集委員が高野会長の職場へ直接お伺いし、新会長インタビューをさせていただきました。

お仕事のお話から今後の日本人会活動について、さらには会長のプライベートなど、貴重なお話を沢山いただいております。

是非最後までお読みください。

マニラ日本人会 高野誠司会長

▼プロフィール▼

兵庫県生まれ。大阪大学卒。

大学在学中は体育会ゴルフ部に所属。

体育会本部常任委員として七帝戦、

阪名戦等の大会運営等各部活動の支援に尽力され、4回生の時に委員長を務められる。

卒業後の1985年4月、住友商事に入社。東京、タイ(バンコク)、東京、インドネシア(ジャカルタ)、東京の勤務を経て、2018年4月よりフィリピン住友商事の社長として駐在中。

趣味はゴルフ、将棋の他、最近はご尊父様の影響で俳句を始められた。



お仕事について

——まずはこれまでのご経歴についてお聞かせいただけないでしょうか。

高野会長:2018年4月からフィリピンに駐在していますので、いつの間にか理事の中では古参の部類に入って参りました。前任の細谷会長とは誕生日が全く同日で、今回、会長職を継承するにあたり、これも何かのご縁かなと。新任の挨拶回りをした1カ月、このネタを使わせていただきました。(笑)



出身は、生まれが兵庫県伊丹市で、その後は隣の川西市に移り、大学は大阪大学と、ずっと関西で過ごしておりました。学生時代は体育会ゴルフ部に所属していたのですが、ゴルフの腕前はイマイチで、先輩から「体育会全体のためにご奉公せい」と言われ、体育会本部の常任委員会に派遣されました。

七帝戦(七つの旧帝国大学の定期戦)や阪名戦(名古屋大学との定期戦)等の大会の企画・運営や各部への予算の振り分け、一般学生向けのスポーツ大会開催等、体育会本部活動一色の学生時代でした。4回生の時は、体育会本部常任委員長を務めました。



1985年(昭和60年)、住友商事に入社されていた前任の体育会常任委員長からのお声掛けで当社に入社しました。入社から8年間ほどは物流関連の仕事に従事。自動車産業を中心に北米で

の工場建設ラッシュの時期で、当時は工場用設備の輸送や据付の仕事で米国に長期出張することが多かったです。

その後、エレクトロニクス関連の営業部署に移り一転してアジアへ。まずは1993年から2000年、スミロニクスという事業会社のタイ現地法人で勤務しました。このスミロニクスという会社は、住友商事がエレクトロニクス・ビジネスに参入した際に、エレクトロニクスと住友を合わせた社名で”スミロニクス”と命名されたものです。

プラザ合意後、日系電機メーカーが海外シフトする中、当初は電子部品を国際調達し、お客様に供給する部品トレードからスタートしたのですが、その後現地で部品を基板



に実装して供給するニーズが高まったのを受け、丁度日本でアルパイングループさんが海外進出を検討されていたこともあって、一緒にやりませんか、ということになり、1995年にタイで合弁工場を設立、部品トレードから電子基板の現地生産にシフトしていきました。



因みにこのビジネスモデルをタイから他の東南アジア諸国、中国、北米等に拡大させ、現在はグローバルに事業を行っています。

その後、2001年に一旦日本に戻った後、2005年から2011年までスミロニクスのインドネシア現地法人の社長を務めました。その頃は、ジャカルタ市内から住友商事が開発した East Jakarta Industrial Park (EJIP)に毎日通って、主に日系顧客向けの電子基

板を製造・販売しておりました。それからまた日本に戻り、2012 年から 2015 年まで住友商事本社でスミロニクス事業を管轄する部長、2015 年から 2018 年まで再びスミロニクスグループに出向し、同グループの CEO を務めました。

——もう東南アジアはベテランですね。

高野会長：携わった事業の特性上、結果としてそうなったのかなあ、と。タイ、インドネシアのあと、次もまたアジアに赴任したいと思っていましたので、2018 年4月からフィリピン赴任というのは願いが叶ったのかなと思っています。

——タイ、インドネシア、フィリピンを比べて、その違いなどはありますか？

高野会長：丁度、各国の1人当たり GDP が USD3,000～4,000 に上がろうとする発展段階の時期に各国に赴任していたので、仕事をする上では、それ程違和感はありませんでした。

一方で国民性については、“おおらかで、明るくて、素直な気質”というのは、東南アジア各国に共通するのではないかと思います。もちろん宗教においては、仏教、ムスリム、カトリックと違いますので、その違いはあるのですが、島国であるインドネシアやフィリピンと、陸続きで他国に囲まれたタイ、という歴史や地理的背景での違いも感じますね。

例えば、タイは「微笑みの国」と言われていますが、実際は一度も他国の植民地にはなっておらず、良い意味で「したたかな」一面を持っているように思います。

フィリピン人の笑い声には、心の底からの、裏表ない楽しさや喜びを感じられます。



——長い海外生活の中で、思い出深いエピソードなどございますか？

高野会長：仕事面としては、タイでは当時マネージャーという肩書だったのですが、日系のメーカーへ、コスト・ダウンの為に“現地生産の部品に切り替えませんか”、といった提案を行い、それをベースに電子基板の受注に繋げるような仕事もしていました。しかし、当時は現地生産の部品品質はまだまだで、顧客工場の生産ラインを止めることもあり、客先の窓口担当だった私は怒られてばかりで、工場に寝泊まりすることも多かったです。

ある時、早朝になってようやく部品が完成したことがありました。客先に届けるために普通は物流トラックを準備するのですが、その時は緊急でしたので自分の車で届けました。



当時は警備も厳しくなく、取引先の私でもそのまま客先の工場に入構出来たわけですが、到着すると数百人の女工さん達が工場のラインに並んで部品の到着を待っていてくれ、私が部品を持って到着した瞬間、彼女達はパチパチパチと大きく拍手してくださったのです。



少々恥ずかしく感じましたが、改めて我々の仕事というのは、大勢の人の仕事・生活に関わっているんだなあ、と感じました。この経験は、“物を届ける”、“物を繋ぐ”という私の仕事の原点となった出来事だと思っています。

——商社マンとしてのやりがいを感じた瞬間だったのでしょうか。

高野会長：商社にもいろいろな仕事がありますが、当時私がやっ

ていたことは、“お客様の要求に応じて 100%間違いなくやる”という仕事でしたので、やりきってお客様から感謝されるという面ではやりがいを感しましたね。

一方で、現在は住友商事のグループ全体の仕事をみる立場になり、おかげさまで南北通勤鉄道やマニラ地下鉄等大きな鉄道プロジェクトにも携わらせてもらっています。MRT3号線のメンテナンス事業に関しては、元々弊社及び三菱重工さんグループが施行しメンテナンスを行っていたのですが、2012 年に突然契約を打ち切れ、一旦は地元及び他国の業者に代わりましたが、故障や事故が頻発し社会問題化する中、フィリピン政府より「もう一度やってもらえないか？」と言われ、再び弊社グループが補修及び保守事業として受注、3年前から補修工事を行い先般完工しました。

時速 30 kmまでしか出せなかった電車が補修の結果 60 kmまで出せるようになった際は、多くの国民の移動手段を支援し貢献できたということで、達成感を関係者の皆さんと共有してもらいました。

プライベートについて

——お仕事もお忙しいようですが、私生活ではどのように過ごされているのですか？

高野会長：普通の駐在員の皆さんと同じように過ごさせていただいています。下手でもやっぱり週末はゴルフ主体ですね。



——奥様はどのように過ごされていらっしゃいますか？

高野会長：妻は2年間、コロナで日本に帰国しておりましたが、今

年2月に戻って参りまして、現在は夫婦2人と犬一匹で生活しています。妻ともゴルフのラウンドを楽しんでいます。

——私も日本に退避していたのですが、奥様も日本に戻られ、離れての生活は大変ではなかったでしょうか。

高野会長:今は娘も結婚して家を離れましたが、当時日本では娘が妻と一緒にいてくれましたので、寂しさも紛れていたのではないかと思います。

現在、妻はこちらに戻ってきて日本人会のハンディクラフト同好会の活動をしており、またパーチメントクラフトという紙細工を駐在員の奥様達に教えたりして楽しんでいます。



来週は、娘2人が家族共々、孫も含めてフィリピンを訪れてくれるので今から

楽しみですね。(日本のGW直前にインタビュー)ちょうど、フィリピンも感染者が少なく、制限も緩和されているので本当に良かったと思います。

——ご主人がゴルフで、奥様のご趣味は工芸ということで、動と静で素敵なお夫婦ですね。

高野会長:妻はゴルフ初心者ですが、老後に向けて(?)共通の趣味があるというのはありがたいですね。私も「静」という意味では、昔から将棋を指すのが好きですが、指す相手がいないので、こち

らでは専ら将棋アプリで楽しんでいます。

ちなみに 90 歳になる私の父親は俳句の先生をやっていて、ちょっと前から薦められていたものの、なかなかその気にならなかったのですが、私自身も相応の年齢になったこともあり、やってみようかと。偶にですが、句を詠んだら父親に送って添削してもらっています。ただフィリピンはずっと夏なので、夏の季語を使って詠むことが多く他の季節の季語の応用が利かないのが悩みです。昔はフィリピンにも俳句の会というのがあったようで、南国ならではの、例えば“火炎樹”などの花を季語として詠んでいたようですが、今はもうメンバーの方がご帰国され、続いていないようで残念です。



火炎樹(カエンジュ・マメ科)

日本人会の活動について

——日本人会では、同好会活動含めて、コロナ禍で休止されていた活動も少しずつ再開の機運が高まってきている感じなのでしょうか。

高野会長:そうですね。再開していきたいと考えています。この2年間は、命の安全を最優先し、いろいろなイベントを中止せざるを得ませんでした。一時は学校も閉鎖されオンライン授業で行われてきたりしましたが、ここに来てムードが変わりつつあるので、これからの1年は、これまでの自粛モードからアクティブモードへ方向展開していきたいと考えています。但し、未だマニラもレベル1が継続し

ていますし、他の近隣諸国ではぶり返している状況もありますので、徐々に進めていく必要があると考えています。

例えばソフトボール大会ですが、今年の後半に警戒レベルが 0 (ゼロ)になり、学校施設の一般利用が可能になれば実施出来るのではないかと期待しています。一時期は、学校の生徒数も小中合わせて 150 人を切るレベルでしたが、最近では 200 人を超えました。ただ、コロナ前の約 450 人に比べると、未だ半分未満な状況です。道半ばではありますが、徐々にこちらに戻られてきている方も増えていますので、今後に期待したいと思えます。



日本人戦没者慰霊祭について

——日本人戦没者慰霊祭などは、どのようにしたいとお考えでしょうか？

高野会長:これは日本人会というよりは、日本大使館の主催となりますが、現在のような感染拡大が抑制されている状況であれば、今年はカリラヤにて開催していただければと思っています。この2年間はオンラインでしたが、やはりあの厳粛な雰囲気の中で戦没者の霊を慰めるというのは日本人にとっては格別の事です。私も、状況が許せば是非現地でお祈りしたいと思います。屋外のイベントですし、それ程長く現地にいるわけではないので、感染対策を取った上



カリラヤ日本人戦没者慰霊園
「Japanese Memorial Garden」

で進めていただければと。

また、第二次世界大戦時、海外においてはフィリピンで亡くなった日本人兵士が一番多く、その2倍の数のフィリピンの方が民間人を含めて犠牲になられた事実もあるので、我々はそのことについて思い続けるべきだと考えています。特に今、残念ながら戦争が行われている国々もありますので、平和のありがたさを皆が感じる事が重要ではないでしょうか。そういう意味でも、あの場で慰霊祭が開催されるのは、意味があることだと思っています。

先程、俳句についてお話しましたが、以前カリラヤに行った際の事を思い浮かべて少し前に詠んだ句がありますので、恥ずかしながら紹介させていただきます。

「慰霊碑を洗うが如き蟬時雨」

命を削るかのように多くの蝉が鳴いているけれども、荘厳な静けさを感じ、まさしく慰霊碑を洗っているかのような…平和への思いを新たにするかのような静謐な気持ちを感じたことを詠みました。



——切なさも感じられる句で

すね。私は広島に住んだことがあり、戦争については歴史の一つの出来事としての認識しかなかったのですが、広島で暮らすうち平和について改めて考えるようになりました。その後フィリピンに住むことになり、マニラ市街戦やキリノ大統領の(日本人 BC 級戦犯に対する)「恩赦」(1953 年7月6日)など、自分が知らなかった事実を知る機会を得て、自分は生かされていると思うようになりました。

高野会長:私も次世代を担う若手社員には、「憎しみとゆるし～マニラ市街戦 その後～」(BS1/キリノ大統領のマニラ市街戦の記憶と日本人 BC 級戦犯 105 名に恩赦を与えた事実についての記録)の映像と、小説「炎熱商人」(深田祐介 著/1971 年 11 月 21 日、マニラで実際に起きた商社支店長の殺害事件を基に書かれた直木賞受賞作品)は読むように薦めています。

戦争で起こった事実は認識し続けるとともに、我々はこうした赦しの上で、平和の元にフィリピンで生活し、仕事をさせていただいているということに思いを馳せていかなければと思っています。

また、戦後先人たちが、現地との間でいろいろ誤解がありながらも、それを解決しよう、信頼される仕事をしようと、真摯に誠心誠意努力をしてきた礎もあって、当地で仕事が出来ているということを知る必要があるとも感じています。こういったことから、この2つの作品は是非視聴してもらいたいですね。



日本人診療所について

——日本人診療所の状況はいかがでしょうか？

高野会長:日本人会診療所というのは、本来であれば日本人駐在員、そのご家族の駆け込み寺的な存在であるべきところですが、この2年間、一般診療が出来ないということで、ご不便をおかけしていましたが、4月1日より一般診療が再開されまして、日本人スタッフによる日本語サポートのもと、日本人医師の指導を受けたフィリピン人医師が診療をしています。



実は私も先週、アメーバ赤痢になりまして・・・日本人診療所にて迅速・的確に診断していただき無事完治できました。現地の大病院などでは、何時間も待たされ、いろいろな検査をされても結果が翌日、

というようなこともあります。日本人会診療所では、例えばアメーバ赤痢など当地に頻発する感染症については短時間で検査結果が得られ処方してもらえますので、まずは駆け込み寺として診療所を利用していただければ幸いです。健康診断等の設備も充実しており、コロナ以前と同様のサービスを提供出来ていますので、是非安心してご利用くださいね。

———小さなお子様を抱える奥様にとっては、子供が病気になったらどうしよう、というのが常に大きな心配だと思います。民間の病院になると値段や保険も心配ですし、撤退する可能性も常にあって・・・そういう面で、日本人会で診療所を抱えていただけているのは本当に心の支えです。



新会長としての抱負

———最後に会長としての抱負をお聞かせください。

高野会長：日本人会の役割としては、

- ① 日本人会員相互の親睦
- ② 会員の生活の質の向上と安全確保
- ③ 日比の友好関係を深める

この三本柱を、基本線として変えることなくやっていきます。また、

先にも述べた通り、コロナの感染状況を見ながら、安全面に配慮し、2年間停滞していたイベント等も再開していきたいと思っています。

一方で世の中の流れに沿った変革も行っていく必要があると感じています。私自身、コロナ禍で便利なことも多く発見できました。オンラインでの会議等もその一つですね。皆さんの生活様式も変化してきていると思いますので、便利なものは利用しながら、生



活様式の変化にも合わせた新たなニーズにも対応していきたいですね。

診療所などでも、対面診断が基本とはなりますが、定期的に薬の処方をするだけの場合などはオンラインでの診断も取り入れることが出来れば、とも考えています。

また、会員数もこの2年間で 12%減少しています。まずは会員の皆様にマニラに戻ってきていただきたいですし、新たにこちらに赴任される方も増えるよう、“マニラに赴任しても安心して生活できる”と言えるようなサポート体制を取っていく必要があります。

インフラ整備や投資促進といった仕事の面での支援を主として行うマニラ日本人商工会議所とも強く連携し、駐在員及び一緒にお越しになる家族を含めた日本人の生活向上に役立てるよう頑張っていきたいと思います。

——本日はお忙しい中お時間をいただき、誠にありがとうございました。



【インタビューを終えて】

会長インタビューということで緊張しておりましたが、柔和な語り口でお話していただき、とても和やかな時間となりました。

体育会に所属し、長年ゴルフをされておられたということで、イギリス紳士のような雰囲気の中に芯の強さも感じました。



※このインタビューは 2022 年4月 29 日(金)に実施したものです。

マニラ日本人会診療所情報(6月1日時点)

◀診療医師のご紹介▶ ※最新情報等はお電話や HP にてご確認ください

セルデニャ先生/Dra, Gerdena, Charmaine C.

専門: 家庭医

言語: 英語、タガログ語

診察日: 月曜日～金曜日



アレハンドロ先生/Dra, Ruth Alejandro

専門: 小児科

言語: 英語、タガログ語(多少の日本語を交え診察)

診察日: 水曜日・金曜日



アク先生/Dra, Maria, Luisa. Acu

専門:産婦人科

言語:英語、タガログ語(多少の日本語を交え診察)

診察日:火曜日・木曜日



アグマタ先生/Dra, Marie Othella T. Agmata

専門:超音波診断専門医

言語:英語、タガログ語

超音波実施日:水曜日・金曜日(予約制)



マニラ日本人会診療所

○住所:23F, Trident Tower,
312 Senator Gil Puyat Ave.
Salcedo Village, Makati City

○電話番号:02-8818-0880

○E-mail:jami-clinic@jami.ph

○診療内容・日時:月曜日～金曜日

【午前】①健康診断(8:30-11:00)*要予約

②一般診療、予防接種 *健康診断枠の間で対応
(発熱外来可。但し37.5度以上の場合は陰性証明要。)

③産婦人科(火曜日&木曜日のみ/10:00-12:00)

【午後/13:30-16:00】

④一般診療、予防接種

⑤小児科(水曜日のみ/13:30-16:00)

⑥健康診断結果に関する相談、再検査など

○海外保険適用:あり ※一部キャッシュレス不可

○URL:<https://jami.ph/clinic/>

